

「業務移管」は白紙撤回し、理解と納得のいく説明を！

勝手に「苦渋の決断」おかしーよ！

突然、部長の部内説明会と同時に日立労組旭支部の職場報告資料が配布され、148名を「出向」させるといふことが明らかとなりました。中身を見てさらに驚きました。すでに執行委員会として「苦渋の決断で、受け入れざるを得ない」と結論を下しているということです。今回の出向提案は組合員の20%にも及ぶもので、大変大きな労働条件の変更です。少なくとも会社提案があった時点で組合員の前に明らかにし、十分な職場討議や関係職場の意見を聞くことを優先すべきです。執行部や委員会幹部だけでこっそりと検討し、職場の評議員の意見さえ聞かず「結論」を下すやり方は、本当に非民主的と言わざるを得ません。この提案は、一度白紙撤回し、最初からやり直すべきではないでしょうか。



業務移管が業績向上につながるのか

日立オムロンが発足したときから、今年度の業績は「赤字」覚悟でした。そのため新規受注の拡大や新製品の開発など従業員は新たな意気込みで業務を進めようとして矢先に、こうした「業務移管」という名の「人員削減」は職場のやる気と意欲を失わせるものです。

今回の提案理由を「効率の向上や競争力強化」としていますが、本当に「業務移管」で効率の向上などになるのでしょうか。日立IE、日立ETや物流の業務を増やしても（HOTS）の売上げにはなりません。これらの関連会社を救済するための提案なのでしょうか。業績不振を一方的に働く者に押し付け、安易な人員削減での「業績改善策」では経営者の能力不足を疑わざるを得ません。

小牧に追いやられ、
今度は切捨てかよー！



小牧パーツセンター設置に伴い、従来、部品管理ではない仕事をしてきた人も狩出され、職場環境も悪い、通勤にも時間が掛かるなど、大変な職場で働く人たちに、さらに追い討ちを掛けるような今回の「出向」。やる気がなくなっても当たり前です。これですます小牧からの部品が来るのが遅れそうです。

旧AE狙い撃ち???

今回の業務移管で「製品丸ごと」移管されそうなのは、旧AEから移ってきた人たちが作っている製品ばかりです。「やっぱりAE狙い撃ちか!」と不満が広がっています。

日立懇・旭事業所ニュース

あさひ「掲示板」

第4号 2005.5.31

編集・発行元 日立懇・旭
電話：0561-54-6222